

令和3年10月15日

保護者各位

鳥栖市立弥生が丘小学校
校長 杉本 光史

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和3年度全国学力・学習状況調査について

令和3年5月27日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数）
※平成31年度(令和元年度)より、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に調査されています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
※学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「言語についての知識・理解・技能」については、全国の平均正答率を大きく上回っており、学習した漢字を正しく使ったり、主語と述語の関係を捉えたりすることができていました。しかし、文の中における修飾と被修飾との関係を捉えることについては、課題が見られました。
- ・「話すこと・聞くこと」については、全国の平均正答率を上回っており、話し手の意図を捉えながら聞いたり、目的に応じて質問したりすることがよくできていました。
- ・「書くこと」については、全国の平均正答率を大きく上回っていました。目的や意図に応じて、自分の考えを工夫して書くことができていました。
- ・「読むこと」については、全国の平均正答率を上回っていました。文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握したり、要約したりすることができていましたが、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見付けることについては課題が見られました。

(2) 算数について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「数と計算」「図形」「測定」の領域においては、全国の平均正答率を上回っていました。面積の求め方や基準量と比較量の関係について式や言葉で記述することができていました。
- ・「変化と関係」の領域においては、全国の平均正答率と同程度でした。
- ・「データの活用」の領域においては、全国の平均正答率を下回っており、様々なグラフからデータを読み取ることに課題が見られました。図表などの資料から特徴を捉える→分析→考察する力を付ける必要があると考えます。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

調査項目	本校の割合(%)	全国の割合(%)
朝食を毎日食べている。	89.0	85.8
毎日、同じくらいの時刻に寝ている。(どちらかといえばしているも含む)	80.3	81.2
毎日、同じくらいの時刻に起きている。(どちらかといえばしているも含む)	94.2	90.4
家で自分で計画を立てて勉強していますか。	23.8	31.2
平日、1時間以上勉強している。	55.8	62.5
平日、30分以上読書をしている。	31.9	37.4
将来の夢や目標をもっていますか。	62.2	60.2
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	77.9	75.4
自分には、よいところがあると思いますか。	26.7	36.2

- ・「朝食を毎日食べている」と回答した児童は、89%程度で、全国の割合を上回っていました。しかし、「全く食べない」と回答した児童は2.9%で全国の割合よりも多かったです。起床・就寝に関しても、全国の割合と大きな差異はないことから、家庭の協力により児童の基本的な生活習慣は身に付いていると思われまます。
- ・田代中校区「家庭学習の手引き」には、家庭学習時間の目安として、60分～90分と記しています。平日に1時間以上勉強している児童は55.8%で、全国の割合に比べると低くなっています。また、30分未満・全くしないと回答している児童は17.5%います。このことは、本校の課題と捉え、学校では家庭学習の質や時間がより一層充実したものになるように工夫するとともに、自主的な学習を奨励し、家庭と連携して引き続き指導に取り組んでいきます。
- ・「将来の夢がある」「人の役に立つ人間になりたい」と回答した児童は、いずれも全国の割合を上回っています。一方、「自分には、よいところがある」と回答した児童は全国の割合を大きく下回っています。家庭、学校、地域が連携して児童の成長を温かく見守り、よさを発揮できるように支えていく必要があります。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・全職員で本校の傾向や課題を共有し、本校のよさを伸ばし、課題を解決する具体的な手立てについて考え、実践していきます。授業では、一人一人がめあてをもって取り組み、粘り強く考え、自分の力を実感できる振り返りをするを通して、児童が自分の力を伸ばしていける授業の在り方を工夫し、改善していきます。
- ・家庭学習の充実に向けて、宿題の内容や量の見直しを行います。音読や漢字、四則計算などの基礎基本の定着を図るとともに、児童が自主的に取り組むことができ、力が付く「自主学习」の例を提示していきます。

【ご家庭でお願いしたいこと】

1 家庭での学習時間をつくってください。(1学期同様、2、3学期も家庭学習調査を行います。)

【低学年30分程度、中学年40～50分、高学年60～90分「家庭学習の手引き」参照】

- ◎学習する時間や時間帯を決め、毎日取り組ませることで学習習慣を身に付けさせましょう。
- ◎テレビやゲーム、スマートフォン、タブレットの時間を決め、守らせましょう。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

- ◎「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣を付け、生活のリズムを整えましょう。
- ◎お子さんの声に耳を傾け、親子でたくさん語り合きましょう。